

鳥取縣公報

千六十三號

昭和十四年九月十二日

火曜日

本書ノ大キサ國定規格A5判

縣令

◇鳥取縣令第二十三號
鶏卵検査規則左ノ通定ム

昭和十四年九月十二日

鳥取縣知事 副 見 喬 雄

鶏卵検査規則

- 第一條 本縣内ニ於テ生産セラレタル鶏卵ヲ本縣外ニ移出セントスル者ハ本則ニ依リ検査ヲ受クベシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
 - 一 包装ノ定量ニ滿タサルモノ
 - 二 學術研究又ハ試験ノ用ニ供スルモノ
 - 三 社団法人養鶏中央會ノ輸出検査ヲ受ケタルモノ
 - 四 博覽會、共進會又ハ品評會等ニ出品スルモノ
 - 五 贈與スルモノニシテ二包装以内ノモノ
 - 六 徵發又ハ強制執行ノ目的物タルモノ及國有ニ屬スルモノ

七 特別ノ事由ニ依リ検査ノ免除ヲ受ケタルモノ
 本縣外ヨリ移入セラレタル鶏卵ト雖モ本縣外ニ於テ生産セラレタルコトヲ確認シ難キモノハ之ヲ
 本縣内ニ於テ生産セラレタルモノト看做ス

第二條 本縣外ニ移出検査セザル鶏卵ト雖モ希望スル者アルトキハ本則ニ依リ検査ヲ行フ

第三條 検査ハ農産物吏員(以下單ニ検査吏員ト稱ス)之ヲ行フ検査吏員ハ自己ノ利害ニ直接關
 係アル鶏卵ノ検査ヲ行フコトヲ得ズ

第四條 検査ハ農産物検査所長(以下單ニ検査所長ト稱ス)ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ行フ
 但シ検査所長必要アリト認ムル場合ハ指定場所以外ノ場所ニ於テ検査ヲ行フコトアルベシ

第五條 検査ハ鷄卵ノ品質、大サ、一包裝ノ箇數及正味重量並ニ包裝ニ付之ヲ行ヒ其ノ品位ニ依
 リ合格及格外ニ區分ス

前項ノ検査標準ハ別ニ之ヲ定ム

第六條 検査ヲ受クル鶏卵ノ大サ、一包裝ノ箇數及正味重量並ニ包裝ハ左ノ各號ニ依ルベシ
 但シ正味重量及包裝ニ付テハ特別ノ事由アル場合ハ検査所長ノ許可ヲ受ケ之ニ依ラザルコト
 ヲ得

- 一 大サハ大玉、中玉、小玉、極小玉及混合玉トシ左ノ標準ニ依リ區分スルコト
- 大 玉 一箇六〇瓦(約六匁)以上ノモノ
- 中 玉 一箇五二瓦(約一四匁)以上六〇瓦(一六匁)未滿ノモノ
- 小 玉 一箇四二瓦(約一一匁)以上五二瓦(約一四匁)未滿ノモノ
- 極 小 玉 一箇四二瓦(約一一匁)未滿ノモノ
- 混 合 玉 大玉、中玉、小玉又ハ極小玉ノ二種以上ヲ混合セルモノ

部 分 名	厚	長	幅
側 板	一、〇 糶 (約三分)	五三糶(約一尺七寸五分)	三七糶(約一尺二寸二分)
妻 板	一、五 糶 (約五分)	三七糶(約一尺二寸二分)	二五糶(約八寸三分)
蓋 及 底 板	一、〇 糶 (約三分)	五三糶(約一尺七寸五分)	二七糶(約八寸九分)

二 一包裝ノ詰込箇數

- 大 玉 二五〇箇以下
- 中 玉 二五一箇以上 二八九箇以下
- 小 玉 三〇〇箇以上 三四九箇以下
- 極 小 玉 三六〇箇以上

三 一包裝ノ正味重量ハ一五斤(四貫)トスルコト
 四 包 裝
 イ 容器ハ左ノ寸法ニ依ル良質ノ木箱ヲ用フルコト

ロ 充填物ハ能ク乾燥シ夾雜物ナキ粃殻(五厘目篩ニテ篩分タル荒目ノモノ)ヲ用フルコ
 ト但シ知事ニ於テ必要アリト認ムルトキハ粃殻ト小麦稈其他適當ナルモノトノ混合物
 ヲ使用スルコトヲ得

ハ 前項混合物ノ原料ノ種類及混合ノ割合並ニ其ノ使用期間ハ知事之ヲ告示ス
 包裝ニハ直徑〇、七六糶(約二分五厘)ノ摺掛繩ヲ用ヒ様式第一號ニ依リ横繩三箇所

縦繩及側繩各一箇所ヲ夫々三廻リ平結ビトシ繩ノ交叉スル箇所ハ引掛ケト爲スコト
 ニ 釘ハ側板一面ニ付約三、六糶(約一寸二分)ノモノ十本以上、蓋及底板ニハ各約四、二糶
 (約一寸四分)ノモノ十本以上、約三、六糶(約一寸二分)ノモノ二本以上ヲ打付クルコト
 在リテハ大玉、中玉、小玉及極小玉別ノ箇數)ヲ様式第二號ニ依リ表示スベシ

第七條 検査ヲ受クベキ荷造箱ノ妻板ニハ受檢者ノ住所氏名、正味重量、大サ及箇數(混合玉ニ
 前項受檢者ノ氏名ハ團體名又ハ商號ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第八條 検査ヲ受ケントスル者ハ別ニ定ムル規程ニ依リ検査手數料ヲ納付スベシ

第九條 検査ヲ受ケントスル者ハ其ノ箱數、検査希望月日、検査場所及仕向地ヲ記載シタル様式
 第三號ニ依ル鶏卵検査申請書ヲ最寄検査所出張所又ハ同派出所ニ提出スベシ

第十條 検査申請者又ハ其ノ代理人ハ検査ニ立會シ検査吏員ノ指示ニ從フベシ
 前項ノ指示ニ從ハザルトキハ其ノ検査ヲ中止スルコトアルベシ

第十一條 検査ハ荷造ノ際之ヲ行フ但シ検査所長ニ於テ特別ノ事由アリト認メタル場合ハ此ノ限ニ
 在ラズ

第十二條 検査吏員検査ヲ行ヒタルトキハ其ノ検査區分ニ應ジ包装ノ外面ニ様式第四號ニ依ル検査
 證印ヲ押捺シ縦繩ノ結止ニ様式第五號ニ依ル封緘紙ヲ以テ卷封ヲ施シ検査吏員之ニ封印ス

第十三條 検査ヲ行フニ當リ第六條又ハ第七條ノ規定ニ適合セザルモノアリタルトキハ其ノ検査ヲ
 中止ス

第十四條 前項ノ検査ヲ中止シタルトキハ直ニ其ノ適合セザル點ヲ正シ検査ヲ受クルニ非ザレバ其ノ申
 請ハ效力ヲ失フモノトス

第十五條 検査申請者又ハ其ノ代理者ニシテ検査ノ決定ニ對シ異議アル者ハ其ノ検査ノ終了シタル
 日ヨリ起算シ三日以内ニ箱數、現品所在地、前検査年月日及異議ノ事由ヲ具シタル再検査申
 請書ヲ検査所長ニ提出スベシ

第十六條 前項ノ申請アリタルトキハ再検査ヲ行フ再検査ノ決定ニ對シテハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ズ
 第十七條 第一條第一項第二號乃至第五號ニ該當スル鶏卵ヲ移出セントスル者ハ其ノ事由、數量及
 移出先ヲ具シ検査所長ニ届出デ包装面ニ様式第六號ニ依ル承認印ノ押捺ヲ受クベシ

第十八條 第一條第一項第七號ノ規定ニ依ル検査ノ免除ヲ受ケ移出セントスル者ハ其ノ事由、數量
 及移出先ヲ具シ検査所長ニ申請スベシ
 前項ノ規定ニ依リ検査ノ免除ヲ爲シタル場合ハ様式第七號ニ依ル検査免除印ヲ包装面ニ押捺
 ス

第十七條 検査吏員必要アリト認ムルトキハ検査濟ノ鶏卵ニ對シ再検査ヲ行フコトヲ得此ノ場合受
 檢者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十八條 検査濟ノ鶏卵ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ更ニ検査ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ移
 出スルコトヲ得ズ

一 包装ヲ破棄シ又ハ鶏卵ヲ損傷シタルモノ
 二 検査證印ノ不明瞭トナリタルモノ
 三 卷封毀損シ又ハ離脱セルモノ
 四 検査ヲ受ケタル日ヨリ起算シ五日ヲ經過シタルモノ

第十九條 鶏卵ノ包装ニハ本則ニ定ムル検査證印ニ類似ノ表示ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十條 検査濟ノ鶏卵ヲ解装スルトキハ其ノ封緘紙ヲ破棄スベシ検査證印、承認印又ハ検査免除
 印ヲ押捺シアル包装材料ハ其ノ表示ヲ抹消シタル後ニ非ザレバ再ビ之ヲ鶏卵ノ包装ニ使用ス

ルコトヲ得ズ

第二十一條 検査済ノ鶏卵ヲ貯藏又ハ運搬スルトキハ變質ヲ防グニ必要ナル適當ノ設備ヲ爲スベシ

第二十二條 運送業者又ハ運送取扱業者ハ第一條第一項又ハ第十八條ノ規定ニ違反スル鶏卵ヲ本縣外ニ運送シ又ハ運送ノ目的ヲ以テ取扱フコトヲ得ズ

第二十二條 検査吏員必要アリト認ムルトキハ鶏卵ノ貯藏場所ニ臨檢シ又ハ關係書類ヲ點檢スルコトヲ得

第二十四條 本則ノ適用ニ因リ生ジタル損害ニ對シテハ縣ハ賠償ノ責ニ任ゼズ

第二十五條 本則ニ依ル検査施行ノ爲メ必要ナル鶏卵ノ積替、運搬、計量、解裝又ハ改裝ノ勞力及費用ハ検査申請者ノ負擔トス

第二十六條 検査吏員又ハ警察官吏ニ於テ本則ニ違反スル事實アリト認ムルトキハ鶏卵ノ保管若ハ運搬停止又ハ關係資料ノ提供ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第二十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

一 第一條第一項、第十五條、第十七條乃至第二十條、第二十二條又ハ第二十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者

二 正當ノ事由ナクシテ第二十三條ノ規定ニ依ル臨檢若ハ臨檢ヲ拒ミタル者

三 検査ヲ受クルニ當リ又ハ検査ヲ免ルル爲不正ノ行爲ヲ爲シタル者

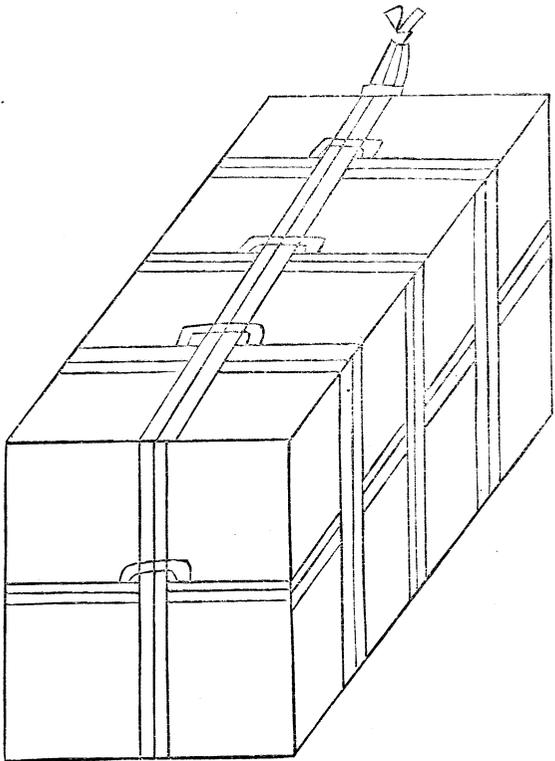
四 故ナク検査済鶏卵ノ検査證印又ハ第七條ニ規定スル記載事項ヲ扶消シ又ハ書換ヘタル者

五 検査済ノ鶏卵ニ不正ノ行爲ヲ爲シタル者

第二十八條 前條ノ罰則ハ違反行爲ニ未遂者及其ノ行爲ヲ教唆シ又ハ補助シタル者ニ之ヲ適用ス

00689

號一第式樣 裝包



第二十九條 本則ニ依ル義務者ハ其ノ代理人、戶主、家長、同居人、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本則ノ規定ニ違反シタル場合ト雖モ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得

第三十條 本則ノ規定ニ違反シタル者ニ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ其ノ業務ニ關シ成年者ト同等ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

本令ハ昭和十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

樣式第二號

表 示 肉 色 焦 茶

卵	鶏
	大サ區分
	正味十五盞詰
	箇數
受檢者	
住所氏名	

↑三七糶 (約一尺二寸二分) ↓

←二五糶 (約八寸三分) →

ト	徴票ハ
ス	外徑一六糶
	内徑一二糶

樣式第三號

檢 查 申 請 書

鶏 卵 檢 查 申 請 書

仕 向 地	檢 查 場 所	檢 查 希 望 月 日	箱 數

右 檢 查 相 受 度 檢 查 手 數 料 金 錢 ヲ 貼 付 此 段 申 請 候 也

昭 和 年 月 日

住 所

鳥 取 縣 農 產 物 檢 查 所 何 出 張 所 御 中

氏 名 印

餘 白 (檢 查 手 數 料 納 收 證 票 貼 付 場 所)

樣式第四號
檢 查 證 印
肉 色 紫

合格
合 格
縣取鳥 格
長徑七、〇 厘 (約二寸三分)
短徑五、五 厘 (約一寸八分)

格外
格 外
縣取鳥 外
長徑七、〇 厘 (約二寸三分)
短徑五、五 厘 (約一寸八分)

樣式第五號
封 緘 紙

長一五 厘 (約五寸) 幅三 厘 (約一寸)

鳥 取 縣 鷄 卵 檢 查 之 證

用紙ハ強靱ナル白紙トス

樣式第六號
承 認 印
肉 色 紫

承認
長徑二、〇 厘 (六分六厘)
短徑一、〇 厘 (三分三厘)

樣式第七號
檢 查 免 除 印
肉 色 紫

免
徑三 厘 (約一寸)

鳥取縣令第二十四號
鶏卵検査手數料規則左ノ通定ム

昭和十四年九月十二日

鳥取縣知事 副 見 喬 雄

鶏卵検査手數料規則

- 第一條 鶏卵検査規則(以下單ニ規則ト稱ス)第八條ノ検査手數料左ノ如シ
鶏卵一包裝ニ付 金 五 錢
- 第二條 規則第十七條ノ再検査ニ付テハ検査手數料ハ徵收セズ規則第十四條ニ依ル再検査ノ検査手數料ハ検査等級ノ決定ガ前検査ト異リタルトキハ之ガ納付ヲ免除ス
- 第三條 規則第十三條第二項ニ該當スルモノノ既納手數料ハ之ヲ還付セズ
- 第四條 鶏卵検査手數料ハ規則第九條ノ鶏卵検査申請書ニ穀物検査手數料規則第四條及第六條乃至第九條ニ規定スル鳥取縣穀物検査手數料納收證票ヲ貼付スベシ

附 則

本令ハ昭和十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

鳥取縣令第二十五號

鶏卵荷造手免許規程左ノ通定ム

昭和十四年九月十二日

鳥取縣知事 副 見 喬 雄

鶏卵荷造手免許規程

- 第一條 本規程ニ於テ選卵荷造ト稱スルハ鶏卵検査規則(以下單ニ規則ト稱ス)ニ依リ検査ヲ受クル鶏卵ノ選別荷造ヲ爲スヲ謂ヒ鶏卵荷造手ト稱スルハ選卵荷造ヲ爲ス者ヲ謂フ
- 第二條 選卵荷造手ハ本規程ニ依リ知事ノ免許ヲ受クベシ
- 第三條 鶏卵荷造手ハ農産物検査所長ノ行フ資格試験ニ合格シタル者ニ付免許ス
前項資格試験ヲ行フベキ期日、場所及其ノ他必要ナル事項ハ其ノ都度之ヲ告示ス
- 第四條 鶏卵荷造手ノ免許ヲ受ケントスル者ハ様式第一號ニ依ル願書ニ履歷書ヲ添ヘ知事ニ差出スベシ
- 第五條 鶏卵荷造手ヲ免許シタルトキハ様式第二號ニ依ル免許證ヲ交付ス
免許證ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ十日以内ニ再交付ヲ願出スベシ
- 第六條 鶏卵荷造手其ノ業務ニ従事スルトキハ免許證ヲ携帯スベシ
免許證ハ之ヲ他人ニ讓渡又ハ貸與スルコトヲ得ズ
- 第七條 鶏卵荷造手左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ免許ヲ取消スコトアルベシ
一 不正ノ手段ニ依リ免許ヲ受ケタルトキ
二 規則ノ規定ニ違反シ處罰ヲ受ケタルトキ
三 第六條第二項ノ規定ニ違反シタルトキ
四 選卵荷造ノ成績不良ナルトキ
五 其ノ業務ニ従事セザルコト一年ニ及ビタルトキ
- 第八條 鶏卵荷造手ニシテ免許ヲ取消サレタルトキハ本人、死亡シタルトキハ其ノ家督相續人ニ於テ遲滞ナク免許證ヲ返付スベシ

第九條 本規程ニ依リ知事ニ提出スベキ書類ハ農産物検査所長ヲ經由スベシ
附 則
本規程ハ昭和十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

様式第一號

鶏卵荷造手免許願

住 氏 所

年 月 日生 名

鳥取縣鶏卵荷造手免許規程ニ依リ免許相受度別紙履歴書相添へ
此段及御願候也

年 月 日

右

氏 名 印

知 事 宛

様式第二號
免許證

第 號

鳥取縣鶏卵荷造手免許證

住 所

年 月 日生 氏 名

↑長 九 寸 (約三寸) ↓

←(寸二約) 六 寸 幅 →

表

裏

鳥 取 縣

印

告示

鳥取縣告示第五百六十九號

昭和十四年九月五日縣參事會ノ議決ヲ經タル昭和十四年度鳥取縣歲入歲出追加更正豫算同年度特別會計權災救助基金歲入歲出追加更正豫算ノ要領左ノ通

昭和十四年九月十二日

鳥取縣知事

副

見

喬

雄

昭和十四年度鳥取縣歲入歲出追加更正豫算

歲入 經常部

△印減高

第一款	地租附加稅	△三三、七三〇圓
第一款	地租附加稅	△三三、七三〇
第二款	特別地稅	△一七、一四〇
第一款	特別地稅	△一七、一四〇
第八款	雜種稅	△四六、〇一二

第一款	雜稅	△四六、〇一二
第二款	使用材料及手數料	二四六
第十二款	國庫下渡金	一、七三〇
第一款	警察費下渡金	一、七三〇
第十三款	雜過年度收入	△二二、四四〇
第八項	雜過年度收入	△八、六八九
第九項	雜經常部計	二二、一二九
歲入	經常部計	一一八、五三四

第二款	國庫補助金	一〇六、〇五二圓
第五項	勸業費補助金	一〇二、三四四
第六項	社會事業費補助金	二、八〇〇
第八項	時局事務補助金	九〇八
第三款	寄附金	一五、四〇〇
第三項	勸業費寄附金	一五、四〇〇
第六項	教育費寄附金	一五、〇〇〇
第六款	國庫補助金	二四七、〇四四
第一款	縣債利子補給金	五三、〇四二

第二項	臨時地方財政補助金	一九四、〇〇二
第八款	縣債	△ 八六、五〇〇
第一項	縣債	△ 八六、五〇〇
歲入	臨時部計	三八一、九九六
歲入	臨時部計	四〇〇、五三〇
歲入	臨時部計	三八一、九九六
歲入	臨時部計	四〇〇、五三〇
第五款	警察廳舍修繕費	二〇一圓
第一項	警察廳舍修繕費	二〇一
第七款	教育諸費	八〇〇
第九項	教育諸費	八〇〇
第九款	勸業諸費	六、二四六
第五項	農產物檢查所費	九八〇
第十五項	農產物檢查所費	六、二四六
第十六項	勸業獎勵費	四、六一一
第十款	社會事業諸費	六四五
第三項	社會事業諸費	二、八〇〇
第十五款	選舉諸費	二、八〇〇
第三項	選舉諸費	四三六

第二項	縣會議決選舉費	△ 七、三九六
第十七款	縣稅取扱費	△ 七、三九六
第四項	雜常部計費	三、〇八七
歲出	臨時部計	三、〇八七
歲出	臨時部計	三、〇八七
第四款	勸業費	一、五五〇圓
第一項	勸業費	一、五五〇
第十款	教育補助費	一五、〇〇〇
第一項	教育補助費	一五、〇〇〇
第十二款	勸業補助費	二〇、八一〇
第一項	勸業補助費	二〇、八一〇
第三十四款	事業變助費	一一、七一五
第一項	事業變助費	一一、七一五
第五項	防縣職員費	一、四七三
第七項	國民精神總動員費	八、一三四
第三十五款	縣債費	二、一〇八
第二項	縣債費	六二〇
第五十八款	受託事業費	六二〇
第二項	受託事業費	二一七、八二九

第一項	舞鶴要港部 第六號 工事受託事業費	一八九、四二九
第二項	設計監督費	二八、四〇〇
第五十九款	旱害應急施設費	一二九、九一九
第一項	農產物應急施設費	四〇、〇六三
第二項	灌溉應急施設費	八四、三五六
第三項	雜費	五、五〇〇
歲出	臨時部計	三九七、四四三
歲出	合計	四〇〇、五三〇
昭和十四年度特別會計罹災救助基金歲入 歲出		
追加更正豫算	入	六二〇圓

第二款	益	六二〇圓
第一款	益	六二〇
第四款	元資受入金	△ 八〇、一二〇
第一項	元資受入金	△ 八〇、一二〇
歲入	合計	△ 七九、五〇〇
歲入	合計	△ 七九、五〇〇
第五款	貸出金	△ 七九、五〇〇

第一項	貸出金	△ 七九、五〇〇
歲出	合計	△ 七九、五〇〇

◇鳥取縣告示第五百七十號
鳥取縣應召商工業者營業援護委員會規程左ノ通定ム

昭和十四年九月十二日

鳥取縣知事 副 見 喬 雄

- 鳥取縣應召商工業者營業援護委員會規程
- 第一條 應召商工業者ノ營業繼續ノ援護ノ目的ヲ達成スル爲鳥取縣應召商工業者營業援護委員會ヲ置ク
 - 第二條 委員會ハ知事ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジテ支那事變ノ爲召集セラレタル中小商工業者ノ營業繼續ノ援護ニ關スル事項ヲ調査審議ス
 - 第三條 委員會ハ會長一人及委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス
 - 第四條 會長ハ知事ヲ以テ之ニ充ツ
 - 第五條 委員ハ應内高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ知事之ヲ命ジ又ハ囑託ス
 - 第六條 會長ハ會務ヲ總理ス
 - 第七條 會長事故アルトキハ知事ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス
 - 第八條 委員會ニ幹事若干人ヲ置ク幹事ハ知事之命ジ又ハ囑託ス
 - 第九條 幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
 - 第十條 委員會ニ書記若干人ヲ置ク書記ハ知事之ヲ命ジ又ハ囑託ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
第八條 本規程ニ定ムルモノノ外委員會ニ關シ必要サル事項ハ知事之ヲ定ム

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
鳥取縣應召商業者營業援護委員會規程ハ之ヲ廢止ス
本規程施行ノ際現ニ鳥取縣應召商業者營業援護委員會ノ委員、幹事又ハ書記タル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ各鳥取縣應召商業者營業援護委員會ノ委員、幹事又ハ書記ヲ命ジ又ハ囑託セラレタルモノトス

鳥取縣告示第五百七十一號
鳥取縣產業奉仕委員規程左ノ通定ム

昭和十四年九月十二日
鳥取縣知事 副 見 喬 雄

鳥取縣產業奉仕委員規程

- 第一條 應召商工業者ノ營業繼續ノ援護ニ當ラシムル爲產業奉仕委員ヲ置ク
- 第二條 產業奉仕委員ハ知事ノ監督ニ屬シ互助共濟ノ精神ヲ以テ前條ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル諸般ノ事務ニ従事ス
- 第三條 產業奉仕委員ノ定數ハ二五〇人以内トシ知事之ヲ囑託ス
- 第四條 產業奉仕委員ノ擔當區域ハ知事之ヲ定ム
- 第五條 業奉仕委員ハ名譽職トス
- 第六條 應召商工業者又ハ其ノ遺族若ハ家族ト產業奉仕委員トノ連繫及產業奉仕委員間ノ連絡ニ資

セシムル爲產業奉仕委員事務所ヲ置ク
第七條 產業奉仕委員事務所ハ別表ニ定ムル地區毎ニ之ヲ置キ地區ヲ表示スベキ名稱ヲ冠ス
第八條 產業奉仕委員事務所ニ書記若干人ヲ置ク書記ハ知事之ヲ命ズ
書記ハ產業奉仕委員ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
鳥取縣商業奉仕委員規程ハ之ヲ廢止ス
本規程施行ノ際現ニ鳥取縣商業奉仕委員又ハ商業奉仕委員事務所書記タル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ各鳥取縣產業奉仕委員又ハ產業奉仕委員事務所書記ヲ囑託シ又ハ命セラレタルモノトス

別表 產業奉仕委員地區表

鳥取市	圓
米子市	圓
岩美郡	圓
八頭郡	圓
氣高郡	圓
倉吉町	圓
東伯郡	圓
西伯郡	圓
日野郡	圓

◆鳥取縣告示第五百七十二號

昭和十四年九月產婆名簿登錄者左ノ如シ

昭和十四年九月十二日

鳥取縣知事

副 見 喬

雄

本籍共鳥取縣東伯郡西鄉村大字上餘戸一八五番地

昭和十四年九月六日

第八一一號登錄

八

渡

砂

子

大正六年五月二十二日生

◆鳥取縣告示第五百七十三號

本年第二回產婆看護婦試驗ヲ左記日時場所ニ於テ施行ス

志願者ハ十月六日迄ニ願書ニ戸籍謄本若ハ戸籍抄本及寫真(最近撮影シタル手札型無台紙)式葉並手數

料金産婆 貳圓 添付住所地所轄警察署經由提出ノ上當日午前八時迄ニ受験用具携帶出願セラルベシ

昭和十四年九月十二日

鳥取縣知事

副 見 喬

雄

試驗ノ種類	日	時	場
產婆試驗學說	昭和十四年十月二十五日 午前九時ヨリ		鳥取市西町 縣立圖書館

同	實地	同年十一月二日 午前九時ヨリ	鳥取市東町 仁風閣
看護婦試驗學說	同年十月二十六日 午前九時ヨリ		鳥取市西町 縣立圖書館
同	實地	同年十月二十七日 午前九時ヨリ	鳥取市東町 仁風閣

◆鳥取縣告示第五百七十四號

昭和十四年第一回藥種商、製藥者、毒物劇物營業試驗ヲ左記日時場所ニ於テ施行ス
志願者ハ十月十日迄ニ願書ニ戸籍謄本若ハ抄本、寫真(最近撮影シタル手札型無台紙)式葉添付提出ノ上當日午前八時迄ニ受験用具携帶出願セラルベシ

昭和十四年九月十二日

鳥取縣知事

副 見 喬

雄

試驗ノ種類	日	時	場
藥種商、製藥者、毒物、劇物營業	昭和十四年十月二十三日 午前九時ヨリ		鳥取市西町 縣立圖書館
同	同年十月二十四日 午前九時ヨリ		鳥取市東町 仁風閣

◆鳥取縣告示第五百七十五號

昭和十二年十一月鳥取縣令第四十九號「トラホーム」豫防法施行細則第三條ニ基キ左記區域内一部ノ住民ニ對シ左ノ日時場所ニ於テ「トラホーム」檢診ヲ施行ス

昭和十四年九月十二日

鳥取縣知事 副 見 喬 雄

鳥取市		検査ノ場所	検査区域	検査ヲ受クベキ者
十月二日	至自 午前 十時	稻葉高等小學校	鳥取市	
十月三日	至自 午後 三時	中ノ郷高等小學校		
十月四日	至自 午後 二時	美保高等小學校		昭和十三年四月一
十月五日	至自 午後 二時	賀露島尋常小學校		日以降ニ
十月六日	至自 同 同	修立尋常小學校		出生シタ
十月七日	至自 同 同	日進尋常小學校		
十月九日	至自 同 同	遷喬尋常小學校		
十月十日	至自 同 同	久松高等小學校		ル者
十月十一日	至自 同 同	富桑尋常小學校		
十月十一日	至自 同 同	醇風尋常小學校		

鳥取郡		検査ノ場所	検査区域	検査ヲ受クベキ者
十月十六日	至自 午前 十時	尾高尋常小學校	米子市	
十月十七日	至自 午後 四時	福生高等小學校		
十月十八日	至自 午後 九時	福米高等小學校		昭和十三年四月一
十月十九日	至自 午後 九時	賀茂尋常小學校		日以降ニ
十月二十日	至自 午後 九時	住吉尋常小學校		出生シタ
十月廿一日	至自 午後 三時	明道尋常小學校		ル者
十月廿二日	至自 同 同	啓成尋常小學校		
十月廿三日	至自 同 同	義方尋常小學校		
十月廿三日	至自 同 同	就將尋常小學校		

氣 高 郡

九月十五日	至自 午後 二時	美穂尋常小學校	美穂村	検査ヲ受クベキ者
-------	----------	---------	-----	----------

九月十六日	自同	午後	二時	湖山高等尋常小學校	湖山村	
九月十七日	自前	午後	一時	吉岡高等尋常小學校	吉岡村	
九月十八日	自前	午後	一時	河内分教場	明治(校下)村	昭和十三
九月十八日	自後	午後	四時	明治高等尋常小學校	明治村	昭和十三
九月十九日	自前	午後	一時	寶木高等尋常小學校	寶木村	年四月一
九月十九日	自後	午後	四時	光元分教場	寶木村	日以降ニ
九月二十日	自後	午後	二時	鹿野高等尋常小學校	鹿野町	出生シタ
九月廿二日	自前	午後	一時	正條高等尋常小學校	正條村	ル者
九月廿三日	自同	午後	二時	日置谷高等尋常小學校	日置谷村	
九月廿五日	自同	午後	二時	日置谷高等尋常小學校	日置谷村	
九月廿六日	自前	午後	一時	勝部高等尋常小學校	勝部村	
九月廿七日	自後	午後	二時	青谷町公會堂	青谷町	

東伯郡

九月十六日	自前	午後	一時	小鹿高等尋常小學校	小鹿(校下)村	検査ヲ受クベシ者
九月十七日	自後	午後	一時	中津分教場	同	
九月十八日	自前	午後	二時	三德尋常小學校	三德村	
九月十八日	自後	午後	四時	三朝高等尋常小學校	三朝村	
九月十九日	自前	午後	二時	賀茂高等尋常小學校	旭村(校下)	
九月十九日	自後	午後	四時	高勢高等尋常小學校	同	
九月二十日	自前	午後	二時	竹田尋常小學校	同	昭和十三
九月廿二日	自後	午後	〇時	加谷部落區長宅	竹田村(本地山加谷)	年四月一
九月廿二日	自後	午後	二時	穴鴨高等尋常小學校	同(校下)	日以降ニ
九月廿三日	自前	午後	二時	下畑區長宅	同(下畑)	出生シタ
九月廿四日	自前	午後	二時	社高等尋常小學校	社村	ル者
九月廿五日	自前	午後	一時	北谷高等尋常小學校	北谷村	
九月廿六日	自後	午後	二時	高城高等尋常小學校	高城(校下)村	

九月廿七日	自同午	前	九時	大立分教場	同
九月廿七日	自同午	後	三時	櫻區長宅	同
九月廿八日	自同午	前	九時	灘手高等小學校	灘手村
九月廿九日	自同午	後	九時	榮高等小學校	榮村
九月三十日	自同午	前	九時	誠明高等小學校	大誠村
十月一日	自同午	後	三時	方見高等小學校	逢東、市勢、伊勢崎村
十月二日	自同午	前	九時	上鄉高等小學校	上鄉村
十月二日	自同午	後	四時	修道高等小學校	下鄉村
十月三日	自同午	前	九時	三本杉分教場	古布庄村
十月三日	自同午	後	三時	古庄高等小學校	同
十月四日	自同午	前	九時	八橋高等小學校	八橋町
十月五日	自同午	前	九時	赤碕高等小學校	赤碕町
十月六日	自同午	後	三時	大父分教場	以西村
十月六日	自同午	前	九時	以西高等小學校	同

十月七日	自同午	前	九時	成美高等小學校	成美村
十月八日	自同午	後	九時	安田高等小學校	安田村
十月九日	自同午	前	九時	下中山高等小學校	下中山村
十月九日	自同午	後	三時	上中山高等小學校	上中山村
十月十日	自同午	前	九時	由良高等小學校	由良町
十月十一日	自同午	後	三時	北條高等小學校	下北條村
十月十二日	自同午	前	九時	中北條高等小學校	中北條村
十月十三日	自同午	前	九時	上北條高等小學校	上北條村
十月十四日	自同午	後	九時	日下高等小學校	日下村
十月十五日	自同午	前	九時	上灘高等小學校	倉吉町
十月十六日	自同午	後	三時	成德高等小學校	同
十月十七日	自同午	前	九時	明倫高等小學校	同
十月十八日	自同午	後	二時	花見高等小學校	花見村
十月十九日	自同午	前	九時	松崎高等小學校	松崎村

十月十九日	至自	午後	三〇時	東郷尋常小學校	東郷村
十月二十日	至自	午後	三〇時	泊尋常小學校	泊村校下
十月廿一日	至自	午後	一九時	原分教場	同

西伯郡

檢査月日	檢査場	檢査區域	檢査者
九月十五日	逢坂尋常小學校	逢坂村	昭和十三年四月一日以降ニ
九月十六日	光德高等小學校	光德村	出生シタル者
九月十七日	名和尋常小學校	名和村	
九月十七日	御來屋尋常小學校	御來屋町	
九月十八日	庄内尋常小學校	庄内村	
九月十九日	大山尋常小學校	大山村	
九月二十日	精華尋常小學校	所子村	
九月廿二日	高麗尋常小學校	高麗村	

十月四日	至自	午後	一九時	金田尋常小學校	賀野村
十月五日	至自	午後	一九時	大國尋常小學校	大國村
十月五日	至自	午後	三〇時	法勝寺尋常小學校	法勝寺村
十月六日	至自	午後	九時	上長田尋常小學校	上長田村
十月六日	至自	午後	三時	東長田尋常小學校	東長田村
十月七日	至自	午後	一九時	天津尋常小學校	天津村
十月八日	至自	同	同	彦名尋常小學校	彦名村
十月九日	至自	同	同	崎津尋常小學校	崎津村
十月十日	至自	午後	二九時	渡高等小學校	渡村
十月十日	至自	午後	四二時	上道尋常小學校	上道村
十月十一日	至自	午後	二九時	餘子尋常小學校	餘子村
十月十二日	至自	午後	三九時	中濱尋常小學校	中濱村
十月十三日	至自	午後	一九時	愛勞尋常小學校	大篠津村
十月十三日	至自	午後	三一時	和田尋常小學校	和田村

九月廿三日	九月廿四日	九月廿五日	九月廿六日	九月廿七日	九月廿七日	九月廿八日	九月廿九日	九月三十日	十月一日	十月二日	十月二日	十月三日	十月三日	十月三日
至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自
同午	午午	午午	午午	午午	午午	午午	午午	午午	午午	午午	午午	午午	午午	午午
十前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前	後前
二九時	三九時	一九時	二九時	一九時	一九時	二九時	一九時	一九時	一九時	一九時	一九時	一九時	一九時	一九時
宇田川尋常小學校	淀江尋常小學校	大和尋常小學校	日吉津尋常小學校	巖高等小學校	春日尋常小學校	尾高尋常小學校	赤松分教場	縣尋常小學校	大幡尋常小學校	幡鄉尋常小學校	五千石尋常小學校	尚德尋常小學校	天萬尋常小學校	手聞村
宇田川	淀江	大和	日吉津	巖	春日	尾高	赤松	縣	大幡	幡鄉	五千石	尚德	天萬	手聞
村	町	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村

十月十四日	十月十四日	九月十三日	九月十三日	九月十四日	九月十四日	九月十五日	九月十五日	九月十六日	九月十七日	九月十七日	九月十七日	
至自	至自	至自	至自	至自	至自							
同午	同午	同午	同午	同午	同午							
十前	十前	十前	十前	十前	十前							
一九時	一九時	一九時	一九時	一九時	一九時							
富益尋常小學校	富益尋常小學校	夜見尋常小學校	夜見尋常小學校	富益尋常小學校	福塚尋常小學校	石見東尋常小學校	石見西尋常小學校	大正尋常小學校	川上分教場	多里尋常小學校	福萬來分教場	山上尋常小學校
富益	富益	夜見	夜見	富益	福塚	石見東	石見西	大正	川上	多里	福萬來	山上
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村

検査ヲ受クベキ者

昭和十三年四月一日以降ニ出生シタル者

九月十八日	九月十九日	九月十九日	九月二十日	九月二十日	九月二十日	九月廿三日	九月廿三日	九月廿四日	九月廿五日	九月廿五日	九月廿六日	九月廿六日	九月廿七日
至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自
午	午	午	正午	午	午	午	午	午	午	午	午	午	午
前	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前
二十時	十九時	十九時	十二時	九時	九時	三時	三時	九時	二時	三時	五時	八時	十一時
阿毘緣尋常小學校	大宮尋常小學校	菅澤分教場	菅福尋常小學校	黑坂尋常小學校	日野尋常小學校	坂井原尋常小學校	眞住尋常小學校	根雨尋常小學校	俣野尋常小學校	明倫尋常小學校	江尾尋常小學校	米澤尋常小學校	日光尋常小學校
阿毘緣村	大宮村	同	黑坂	同	日野	根雨	同	同	神奈川	同	江尾	米澤	日光
	下村		下町		村	下町			下村		村	村	村

九月廿八日	九月廿九日	九月三十日	十月一日	十月一日
至自	至自	至自	至自	至自
午	午	午	午	午
前	後	前	後	後
九時	九時	十二時	九時	五時
二部尋常小學校	八鄉尋常小學校	金屋谷分教場	旭尋常小學校	溝口尋常小學校
二部	八鄉	溝	同	同
部	村	校口		
村	村	下町		

通牒

發地第一七七號

昭和十四年九月二日

市 町 村 長 殿 總 務 部 長

今回鳥取縣護國神社造營期成會ニ於テ同神社造營費釀出方依頼ノ次第モ有之候處本事業ノ趣旨ニ鑑ミ普ク全縣民ノ篤志寄附ヲ以テ之ニ充當セントスルモノニ付市町村費等ニ依ルコトナキ様御留意相成度若シ之カ財源ヲ市町村費ニ求ムル場合ハ之ガ豫算議決前豫メ地方課ト協議セラレ度此段及通牒候

發社第六二八號

昭和十四年九月五日

學 務 部 長

市 町 村 長 殿

大日本傷痍軍人會鳥取縣支部長

軍 人 傷 病 記 章 ニ 關 ス ル 件

標記ノ件ニ關シテハ客年八月三日付勅令第五百五十三號軍人傷痍記章令本年六月七日付勅令第三百十號軍人傷痍記章授與臨時特例ニ付リ夫々御配意中ノ事ハ被存候モ手續上左記ニ篤ト御留意ノ

上遺憾ナキヲ期セラレ度候

- 一 軍人傷痍病記章授與臨時特例ニ依リ出頭シ記章臨時授與ハ直ニ軍人傷痍記章臨時受章届ヲ本人居住地ノ市町村長經由地方長官ニ提出セシメラレタキコト(特例施行規則第四條)
 - 一 臨時授與者ニシテ恩給法ニ依リ增加恩給(項症該當)若ハ傷病年金(款症該當)ノ受給權確定(增加恩給證書若クハ裁定通知書受領者)シタル者ハ軍人傷痍記章臨時受章者異動届(様式一號)ニ軍人傷痍記章臨時授與證書寫及恩給證書寫或ハ裁定通知書寫ヲ添付シ居住地市町村長經由地方長官ニ提出スルコト(特例第三條特例施行規則第五條)
 - 一 傷病賜金(目症該當)受給見込者ハ前記特例ニ依リ臨時授與相成ラザルモノニ付傷病賜金受給權確定後軍人傷痍記章令ニ依リ出願セシメラルコト(特令第一條及記章令第三條)
 - 一 增加恩給、傷病年金或ハ傷病賜金ノ受領者ニシテ特例ニ依ル記章授與出願未濟者ハ記章令ニ依リ出願ノ手續ヲナサシムルコト(記章令第三條及同令施行規則第一條)
 - 一 軍人傷痍記章臨時授與證書ニテハ傷痍軍人國有鐵道無賃乘車規定ハ目下ノ處適用致サレズ且其ノ他ノ恩典ニ浴セザルモノ多々可有之ニ付此點特ニ了承セシメ受給權確定後直ニ前記手續セシメラレ度キコト
- 尙舊記章所持者ニシテ新記章ト未ダ引換致サザル者ニアリテハ地方長官ニ於ケル引換期限ハ本年十二月三十一日迄ト相成居候ニ付至急軍人傷痍記章令附則ニ依リ出願セシメラレ度申添候様式第一號

軍人傷痍記章臨時受章者異動届

官等級(元官等級)位勳功氏 名

年 月 日生

右者何年何月何日軍人傷痕記章授與臨時特例ニ依リ(甲)乙種第何號ヲ以テ軍人傷痕記章授與相成居候處今般別紙恩給證書寫(裁定通知書寫)ノ通恩給法ニ依リ增加恩給(傷病年金、傷病賜金)ヲ受領致候間軍人傷痕記章授與證書及傷痕軍人證ヲ授與相成度軍人傷痕記章臨時授與證書寫相添へ及届出候也

本籍地 府 縣 郡 市 區 町 村 字 番 地
居住地 府 縣 郡 市 區 町 村 字 番 地
年 月 日 氏 名 殿 印

陸軍大臣 氏 名 殿
受社第一〇二二八號
昭和十四年九月五日

學 務 部 長

市 町 村 長 殿
準扶助料支給事業實施ニ關スル件

恩賜財團軍人援護會ニ於テハ戰歿軍人軍屬ト内縁關係ニアル準遺族ニ對シ標記準扶助料給付事業ヲ昭和十四年九月一日ヨリ實施セラルルコトト相成候就テハ左記關係書類送付候條可然御配意相煩度候

- 一 恩賜財團軍人援護會準扶助料給付金支給要項及支給手續
- 一 一同 概要

發林第一九〇號
昭和十四年九月七日

市 町 村 長 殿
經 濟 部 長

民有造林補助ニ關スル件

本年七月四日付本號ヲ以テ民有造林補助ノ件ニ關シ及通牒置候處今尙補助金額ニ幾分餘裕有之候條期限經過後ニハ候得共申請書受理可致候ニ付尙一層御勸奨ノ上可成多數申請セシムル様御取計相煩度此段及通牒候也

追而本年度補助申請ニ對シ聽届指令無之爲事情照會越ノ向有之候處右ハ本年六月十六日發林第一九〇號通牒(縣公報登載)ノ通本年度ヨリ事務簡捷上聽届指令省略ノコトニ取扱ヲ變更致シタル次第ニ付周知セシメラレ度申添候

發林第二八〇號
昭和十四年九月七日

警 察 部 長
經 濟 部 長

市 町 村 長 殿
林野火災防止ニ關スル件

林野火災防止ニ關シテハ豫而御配意相成逐年減少ノ傾向ニ有之殊ニ本春ノ如キハ好結果ヲ齎シ居候

